

受 賞 者

福井県科学学術大賞

- (1) 受賞者名 吉田 好雄（よしだ よしお）[福井大学学術研究院 医学系部門医学領域
器官制御医学講座 産科婦人科学 教授]
- (2) 業績名 子宮肉腫診断法の開発
- (3) 業績概要 子宮肉腫とは、非常に高い悪性度を持っており、30歳代の女性に高頻度に発生する婦人科疾患である子宮筋腫との鑑別が困難な疾患である。
その疾患に対して、新たな診断法を開発した。陽電子放出断層撮影による画像と血液を用いた新たな診断法は、従来の腫瘍の一部を摘出するという診断法に比べ、高精度かつ、体への負担を減らすことを可能にした。
これにより、「筋腫なのに肉腫の可能性がある」という状況下での不必要な手術を減らすことにつながる。
- (4) 表彰内容 表彰状、賞金100万円、記念品を贈呈

福井県科学学術大賞

- (1) 受賞者名 風間 裕介（かざま ゆうすけ）[福井県立大学 生物資源学部 教授]
- (2) 業績名 重イオンビーム照射技術の開発とそれを用いた植物性決定遺伝子の同定
- (3) 業績概要 ゲノムDNAを変化させて野生とは違った変異体を生み出す重イオンビーム照射技術を開発し、より効率的に植物の遺伝子変異体を獲得し、新品種の育成を可能にした。
さらに、この技術を用いて、世界で約100年近く続いていた研究で、ヒロハノマンテマという植物の性決定遺伝子を特定することに成功した。
この発見は、遺伝子がどうやって性を決定するのかという、進化学において極めて重要な知見をもたらした。
- (4) 表彰内容 表彰状、賞金100万円、記念品を贈呈

(参考)

【 表彰式 】

1 日 時 令和6年2月7日（水）13時30分から

2 場 所 福井県庁地下1F 正庁

（「ふるさとの日」記念表彰式にて表彰します。）

※表彰式終了後、14時30分から福井県庁 記者会見室（本庁6F）において受賞者の記者会見を予定しています。

福井県科学学術大賞の概要

事業概要

福井県内において科学技術の開発または学術研究に携わり、本県の発展に大きく貢献したと認められる方を顕彰することを目的とした表彰制度です。

この賞は、県内の篤志家からの寄附金を原資として授与されるもので、“本県版のミニ・ノーベル賞”として位置付けられ、「物理」、「化学」、「生物」、「生理学・医学」、「経済」の5分野での業績が対象となります。

表彰の対象

福井県内において、物理、化学、生物、生理学・医学、経済の分野で特に顕著な功績を挙げ、産業の振興、地域の活性化その他住民の福祉の向上に貢献したと認められる個人またはグループ（若手科学学術賞は概ね45歳未満の個人または主たる研究者が概ね45歳未満のグループ）の業績が対象となります。

表彰の内容

福井県科学学術大賞	表彰状、賞金100万円、記念品を贈呈
福井県科学学術大賞特別賞	表彰状、賞金50万円、記念品を贈呈
福井県科学学術大賞若手科学学術賞	表彰状、賞金30万円、記念品を贈呈

募集の方法

一般公募とし、応募方法は所属する団体等からの推薦または本人からの応募とします。

受賞者の選考

応募のあった方を対象に、福井県科学学術大賞選考委員会で受賞候補者を選考し、知事が受賞者を決定します。

福井県科学学術大賞選考委員

専門分野	委員名	所属役職等
物理	委員 京藤 倫久	株式会社明電舎 技術顧問
化学	委員 奥山 喜久夫	広島大学 名誉教授
生物	委員 斎藤 成也	国立遺伝学研究所 特任教授
生理学・医学	委員 木村 吉延	福井大学 名誉教授
経済	委員 武藤 昌三	シンフォニアテクノロジー株式会社 代表取締役会長